

キュウリ接ぎ木実習

野菜専攻生がキュウリの接ぎ木実習を行いました！

キュウリ栽培では、「**接ぎ木**」という作業を行います。これは2種類の植物をつなぎ合わせることで、病気に耐性をつけたり、果実の表面に出る「**ブルーム**」という白い粉を出なくするためにを行います。



左側がキュウリで右側がカボチャの苗です。キュウリはカボチャと「接ぎ木」をします。それぞれ半分ほど切り込みを入れて、傷口をかみ合わせます。

ちなみにキュウリの茎の太さは2mmほどです。いかに難しいか想像できると思います。



つなぎ合わせた後クリップでとめます。



みんな真剣な表情で取り組んでいました。キュウリの収穫が今から楽しみです♪